

視点(1428)

I Saw All China (その4) !!

—東アジア流通圏と中国圏の経済規模—

ここで東アジア経済圏を、日本、中国、香港、台湾、韓国、ベトナムの6経済圏として、その経済規模を示すと次の通りです。

	国土面積	人口数	為替レート名目GDP		購買力平価名目GDP		
			総GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1ドル)	総GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1ドル)	
日本	377,930 km ²	12,654	5,459	42,820	4,310	33,805	
中国圏	中国	9,596,961 km ²	134,133	5,878	4,382	10,086	7,519
	香港	1,104 km ²	705	225	31,591	326	45,736
	台湾	36,188 km ²	2,315	431	18,458	822	35,227
韓国	99,828 km ²	4,818	1,007	20,591	1,459	29,136	
ベトナム	331,212 km ²	8,785	103	1,174	277	3,139	
合計	10,443,223 km ²	163,410	13,104	(8,019)	17,280	(10,575)	
アメリカ	9,629,091 km ²	31,038	14,658	47,284	14,658	47,284	
欧州連合	4,456,304 km ²	49,745	16,282	32,615	15,170	30,388	

2010年現在、東アジア経済圏（6経済圏）には16.3億人の人口、為替レートGDPが13.1兆ドル（1人当たり8,019ドル）、購買力平価GDPが17.3兆ドル（1人当たり10,575ドル）の巨大な経済圏が出現しています。

東アジア経済圏（6経済圏）とアメリカ（USA）と欧州連合（EU・27ヶ国）を比較すると次の通りです。

- ①人口規模では、東アジア経済圏（6経済圏）は16.3億人で、欧州連合の5.0億人を3.3倍、アメリカの3.1億人を5.3倍上回っています。
- ②為替レート名目GDPは、東アジア経済圏は13.1兆ドルに対し、アメリカは14.7兆ドル、欧州連合は16.3兆ドルと、ほぼアメリカや欧州連合に匹敵する規模です。
- ③購買力平価名目GDPは、東アジア経済圏は17.3兆ドル、アメリカは14.7兆ドル、欧州連合は15.2兆ドルと、東アジア経済圏が逆にアメリカや欧州連合を上回っています。
- ④1人当たりGDPは、為替レートで東アジア経済圏が8,019ドル、購買力平価が10,575ドルであり、モダン消費を形成する中産階級を創出する所得レベルを確立しています。
一方、アメリカや欧州連合は、1人当たり所得は30,388～47,284ドルと完全にモノ離れ消費である広義のポストモダン消費の成熟したマーケットが形成されています。
- ⑤いずれにしても、日本を取り巻く周辺に、アメリカ（USA）や欧州連合（EU）に匹敵する経済圏が現在、確立しています。いわゆる「準内需」（外需であるが、時間・距離的に内需に相当する需要）です。
- ⑥しかも、人口は、東アジア経済圏は突出しており、同時に今後10年間に経済や流通は1.5～1.8倍の成長が期待されており、2020年には20兆～25兆ドルの経済が確立されようとしています。

※所得が10,000ドルは、モダン消費の主役である中産階級の確立（3,000ドルから始まる）、20,000～30,000ドルになると買物の学習経験が終焉し、その後10～20年にモノ離れが進み、新旧のニーズの入れ替えであるポストモダン消費となり、さらに20年を過ぎるとニューモダン消費時代となります。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 車 秀 之